

清川歴史公園かわら版

清川関所の七夕まつり開催

お子さん連れのご家族などで連日賑わう！

七月一日(火)から六日(日)まで恒例の『清川関所の七夕まつり』を開催しました。お子様連れのご家族などにお越しいただき、連日賑わいました。



【七夕飾り】

期間中の館内には「認定こども園からふる幼児舎」のお子さん達が作った「七夕飾り」を設置しました。



館内に設置した七夕飾り

【御殿茶屋 七夕セット】

御殿茶屋では、七月五日(土)と六日(日)に七夕にちなんだ特別メニュー「七夕セット」を提供しました。

むきそばや鶏チャーシュー、天の川をイメージした寒天ゼリー等が添えられています。お召し上がりいただいた方から「七夕まつりを目で見て、味わって楽しませていただきました。」との声をいただきました。



好評だった「七夕セット」

【お外でコンサート in 清川関所】

七月五日(土)には庄内ひびき合唱団アルエット(旧あまるめ少年少女合唱団)の皆さんによる「お外でコンサート in 清川関所」を開催。清川地区をはじめ町内各地から約六〇名のお客様にお越しいた

■発行所

○清川歴史公園
管理運営委員会

□庄内町
立川総合支所
立川地域振興係
TEL:0234-56-2217

○庄内町
「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会

□庄内町教育委員会
社会教育課
TEL:0234-43-0194

いただきました。
この日初めて舞台上に立つお子さんも先輩と一緒に「天の川」など懐かしい童謡を合唱してくださいました。



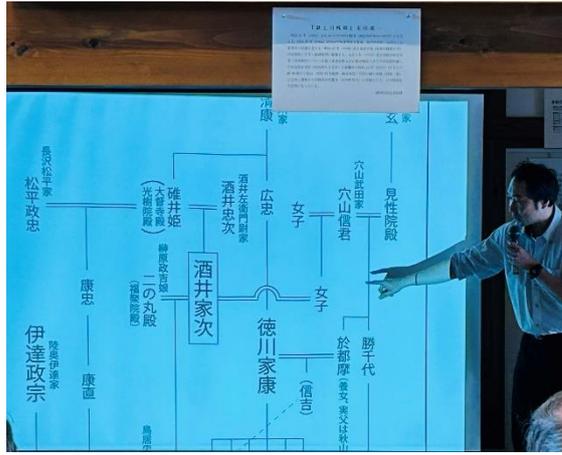
コンサート終了後には、管理運営委員会を代表して齋藤副会長より素敵な歌声を聴かせていただいた皆さんへお礼のあいさつと代表者へ粗品を贈呈しました。



歴史講座 in 清川 「戊辰戦争と庄内藩の動きについて」

五月十四日（水）に令和七年度の第一回「歴史講座 in 清川」を開催しました。町内をはじめ鶴岡・酒田・新庄などから約三十名にご参加いただきました。

今回は「戊辰戦争と庄内藩の動きについて」と題して、公益財団法人致道博物館の学芸員・菅原義勝氏にご担当いただきました。



致道博物館
学芸員 菅原 義勝氏

戊辰戦争「清川口の戦い」からはじまり、内陸地方や秋田方面へ進軍する庄内藩の戦いについて解説いただきました。

講義の中で菅原氏は二番大隊大将であった酒井玄蕃筆「戊辰二十絶」を紹介。新政府軍に降伏するまでの戦歴について、心情を交えて描かれています。この戊辰二十絶は、四月から六月まで致道博物館で開催された企画展「ドラマチック書画」で実物が展示されていきました。

令和7年度
歴史講座 in 清川
第1回「戊辰戦争と庄内藩の動きについて」

【開催】 5月14日（水）
12:00-14:30

【参加費】 1,700円
（手付有正とご返金されない場合は、別途お申し込みください）

【会場】 清川歴史公園 清川閣所
（〒987-0101 秋田県清川市清川1-1）

【お問い合わせ・申込先】 電話 0234-25-5885
（受付：火～日 10:00～17:00 休用曜祝祭日）

【参加者募集】 第二回 歴史講座 in 清川 九月十日（水）開催 飽海郡役所の 資料から読み解く 明治天皇東北巡幸

第二回 歴史講座 in 清川を九月十日（水）に開催します。

今回は「飽海郡役所の資料から読み解く明治天皇東北巡幸」と題して、明治十四年（一八八一）九月に行われた「明治天皇の東北巡幸」について、酒田市に残る「飽海郡役所」の資料をもとにして講義いただきます。講師は山形大学准教授の小幡圭祐氏です。巡幸の様子は、館内で展示している、余目八幡神社の「稻刈展覧図」にも描かれています。



余目八幡神社 稻刈展覧図

また清川学校には行在所が設けられて、明治天皇は行きと帰りの二泊滞在されています。現在、清川閣所に隣接する清川グラウンドには「明治天皇行在所碑」と文部省が建てた高札が残っています。

【当日のスケジュール】
受付…お昼十二時より
昼食…十二時から午後一時まで
食事処 御殿茶屋の「東風そば」と「そばぜんざい」をご用意。
講座…一時から二時三十分まで
※終了後、希望者には清川まち歩きにご案内します。追加代金不要。

- 【会場】 清川閣所
- 【募集人員】 二十名
- 【参加費】 おひとり千七百円
- 【申込受付】 清川閣所（電話：〇二三四―二五―五八八五）

令和7年度
歴史講座 in 清川
第2回「飽海郡役所の資料から読み解く明治天皇東北巡幸」

【開催】 9月10日（水）
12:00-14:30

【参加費】 1,700円
（手付有正とご返金されない場合は、別途お申し込みください）

【会場】 清川歴史公園 清川閣所
（〒987-0101 秋田県清川市清川1-1）

【お問い合わせ・申込先】 電話 0234-25-5885
（受付：火～日 10:00～17:00 休用曜祝祭日）

初夏の清川関所で楽しむ！本格上方落語

上方落語の月亭天使さんと桂文五郎さんによる落語会

六月十五日(日)に「清川関所寄席」を開催しました。昨年十月に続いて、月亭天使さんと桂文五郎さんによる上方落語をご堪能いただきました。約三十名のお客様に会場いただき、館内は笑いの渦に包まれました。

月亭天使さん



桂文五郎さん



来場者の質問に答える文五郎さんと天使さん

またアフタートークの時間には、おふたりの息の合ったやり取りで、来場者の質問や記念撮影に応じていただきました。最後には「また来年も来てね！」と声がかかりました。

清川関所で本格上方落語を聴かせます!

清川関所寄席

月亭 天使・桂文五郎 落語会

令和7年
6月15日(日)

10:30開演 10:00開場 11:45終演予定

清川歴史公園 清川関所
〒599-0006 山形県東山田郡庄内町清川歴史公園

◎落語会のみ：1,500円
◎食事(茶碗そば)付きチケット：2,500円
※落語会のみ・食事付きチケット各20名限定
◎チケットお取り扱い：清川歴史公園 清川関所
◎予約・お問合せ：清川関所(電話)0236-25-5685
※主催：清川歴史公園管理運営委員会

歴史の里のおもてなし ガイドの会より

清川の戊辰戦争を案内して

六月、東京からのツアー客十九名をまち歩きガイドしました。「庄内の戊辰戦争」を学ぶ方々で、前日は鶴岡にて研修を行い、清川では「戦いの現場と合戦当日の村人達の様子や村に言い伝えられていることを知りたい」とのことでした。

幸い旧清川公民館が明治百年記念事業として「雷山翁清川合戦実録」を発行しておりましたので、これを読み込んでお話しすることができました。戦いの前から村人は色々な動きに緊張感が高まる様子や庄内藩の動き、清川の若者三十七人は農兵として参戦していることが綴られています。村の女、子供、老人は狩川へ非難させ、大釜に飯を炊き、兵への炊き出しを準備したり、慌ただしい様子など一部

始終記録されており、関所では御殿林の杉に刺さった鉄砲の弾を見て頂き、古戦場跡では腹巻岩や河原での動きを想像し、官軍の墓では手を合わせる方もありました。記念館では資料を買い求める方も多く、関心の高さが窺えました。各自学んだ歴史の現場に立つことにより理解ができたようでした。皆さんの研究熱心さと学びの深さに驚かされ、また清川の良さに気づかされた一日でした。

雷山翁の書かれた合戦実録は本当に貴重な資料だと思います。

【会員募集】

きよかわ観光ガイドの会

私たちと一緒に清川を案内する仲間になりませんか。

お客様と一緒にまち歩き(ウォーキング)は健康にも良いです。

「お問合せ」清川関所(電話)〇二三四―二五―五八八五)



庄内町史資料第七号

「清河八郎関係日記一」
『西遊紀事』より



①

今回は、九月二十七日(土)に開催される「清河八郎筆『西遊紀事』」の解説講座で、講師として来町される明治大学名誉教授、徳田武氏から、テキストで使用する「庄内町史資料第七号」から、おすすめの場面を教えてくださいました。

②

●「庄内町史資料第七号」
百十一頁 上段より
七月二十八日 春雨定まらず
(オランダ邸見物、円山花月の遊び)
辰、中野屋の主人が八郎をして商人に扮装せしめ、其の舅の某に託して、多くの商人と俱にオランダ邸に入らせせようとする。やがて門に至る。役人が来たりて懐ろを検査する。このようにする事再度、ようやく入る。多くの商人は、それぞれの仕事に就く。八郎のみ

③

髭や目が尽く赤く、殆んど猿に類し、これに近づけば汚臭が犬のようである。その服は美ではあるが、その食は、もとより汚肉に過ぎない。これが、その臭氣を発する理由であろうか。
首領(オランダの役人)が居る所は、装飾が最も細密であつて、壁には鏡を掛け、きらきらと輝くので、長いこと熟視していた。それから、その料理人と話していると、一人のオランダ人が来て、混ざり坐り、琴を取って弾く。料理人が

⑤

幕府に赴く。今年赴くのはこの為だ。
館中には風候旗を建て、出入は厳重で、長崎人でも、たやすくは入ることができない。それなのに八郎は、遠国からの旅人であるのに、幸いにも中野屋主人に厚遇され、オランダ館を自由に見られ、カピタン(オランダ館長)にも入れたのは、幸甚な事であった。正午に、官邸を出る。およそ出入りには、門番が懐中を検閲することは初めと同様

⑦



維新の魁
清河八郎を大河ドラマに!

「清河八郎」を主人公とする大河ドラマの実現を目指し、平成三〇年五月に「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会を設立しました。現在、清河八郎を多くの人に知ってもらいたい!という願いのもと、周知活動を行っています。



独り彷徨して、邸内を貪り視る。邸は四方一丁(約百九メートル)余り、奉行所の庫が最も多く、オランダ人の部屋がその間に配置され、翠の壁が殊に鮮かである。けれども結構は、特徴が無い。
この日、官が銅を授けるので、日本人とオランダ人とが錯雑し、較量場は大いに賑わう。日本の役人とオランダの役人とが相対してこれを検査し、頗る異様な見物である。但しオランダ人の容貌は、

④

葡萄酒を勧めるが、酸っぱくて飲めない。そばのオランダ人が、これを見て笑い、八郎に言う、「日本酒と同じだよ」
と。その後の言葉は、訳せない。オランダ人は統居(管理の意か)が大そう甚しく、訳官であつても、手振りし、地面に書くのでなければ、語意が通じないという。中野屋主人が顧みて曰く、「カピタン(商館長)はオランダ館を守ることに五年、交代する時には

⑥

～清河八郎筆『西遊紀事』解説講座～

明治大学名誉教授 徳田武氏が講師として来町します!

- ・ 日時：9月27日(土) 14:30~16:30
- ・ 場所：響ホール 小ホール
- ・ 定員：50名程度
- ・ 内容：「庄内町史資料第七号 清河八郎関係日記一」中の『西遊紀事』の解説講座
- ・ 参加費：無料(別途テキスト代1,400円)
※テキストを持参した方はテキスト代不要
- ・ 申込方法：庄内町教育委員会社会教育課社会教育係へ
電話 (0234-43-0183) またはEメール
※Eメールの方は、件名「9月27日解説講座申込み」とし、「氏名、お住まいの市町村(庄内町の方は行政区まで)、電話番号」を記入してください。



↑テキスト



↑Eメールはこちらから

清河八郎

「カプセルトイ」販売中!



販売場所

- ・ 清川関所
- ・ 清河八郎記念館
- ・ 道の駅 しょうない
- ・ 町湯
- ・ クラッセ

1回：200円